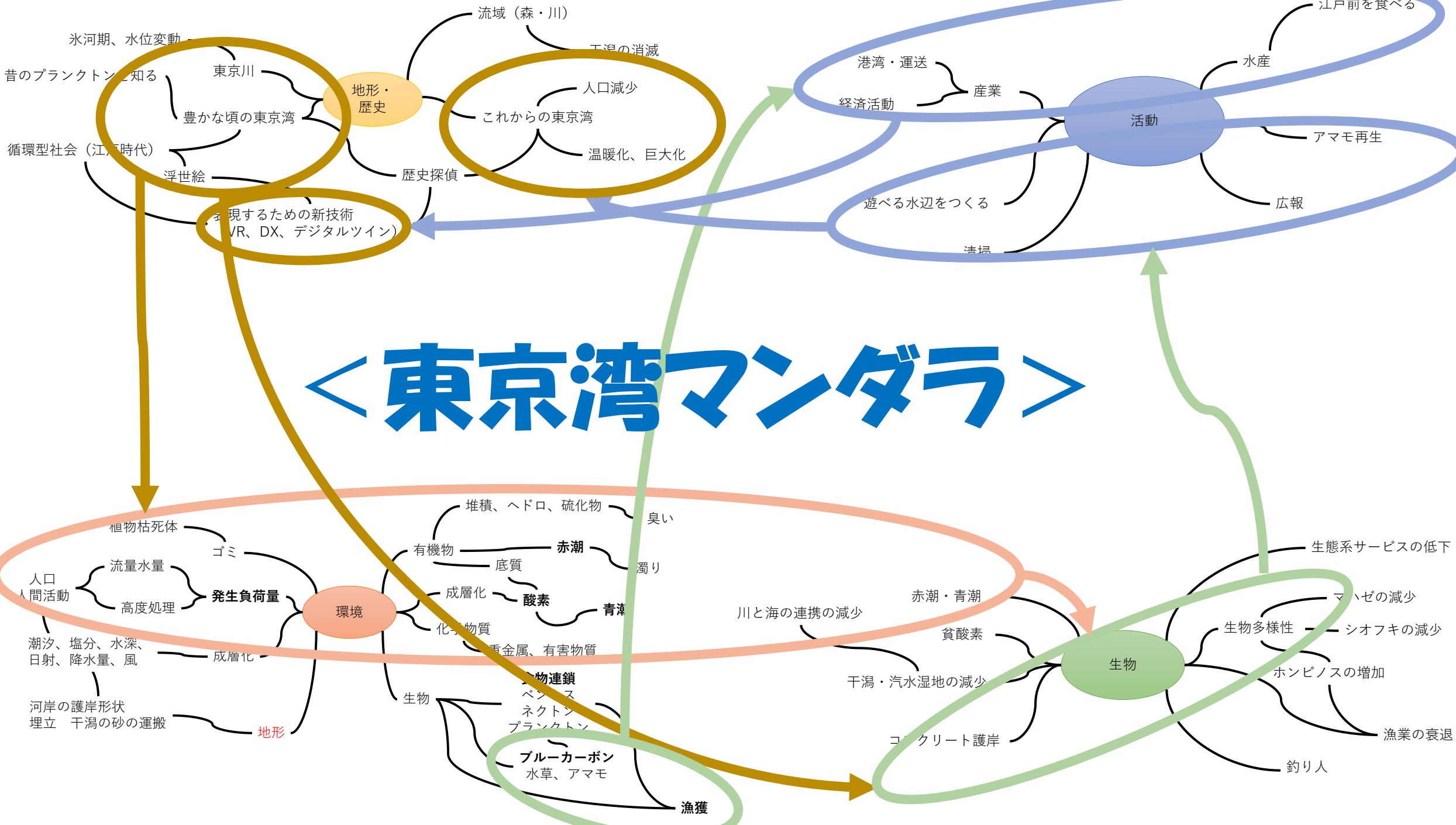
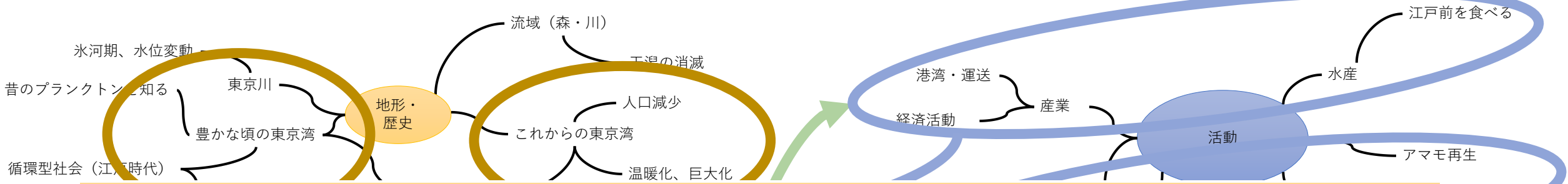
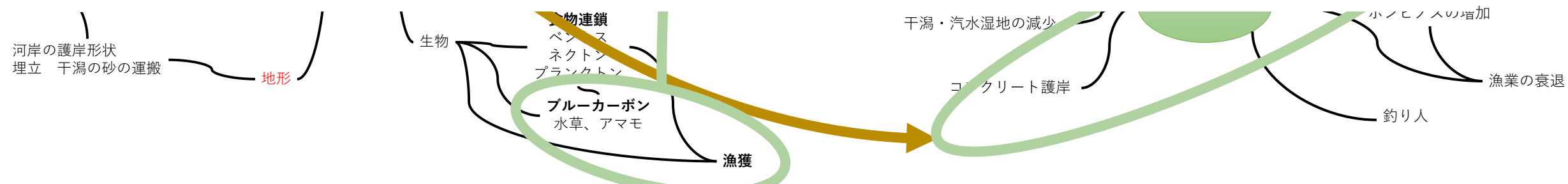


< 東京湾マンダラ >





氷河期からの水位変動を受け出現した東京湾は、流域からの土砂流入を受けて豊かであり、循環型社会が構築されていたことが、浮世絵などによってもその様子がうかがい知れる。その後、人口の増加、埋立、負荷の増加などを受け、環境が悪化し、臭い、赤潮、貧酸素、青潮、化学物質などの問題が生じた。それらは、懸命の努力により改善されつつあるが、干潟・汽水湿地の減少などによる生物への影響は残り、川と海の連携が失われ、その影響は生物に表れ、漁業活動や釣り人などにも及んでいるように見える。持続可能な経済活動を推進するとともに、皆が安心・安全に遊べる水辺を作り出すことによって、アマモが広がる海を取り戻し、江戸前を食べられる。これから問題となる人口減少や地球温暖化、災害の激甚化の中で、開発と保全のバランスのとれた東京湾を作り出し、その恵みを皆で共有していくことが大切である。



-ビスの低下
の減少
フキの減少

東京湾の再生のためのつながいの発見！

めざすべき東京湾の姿の描写

江戸前
ための新技术 (X、デジタルツイン)

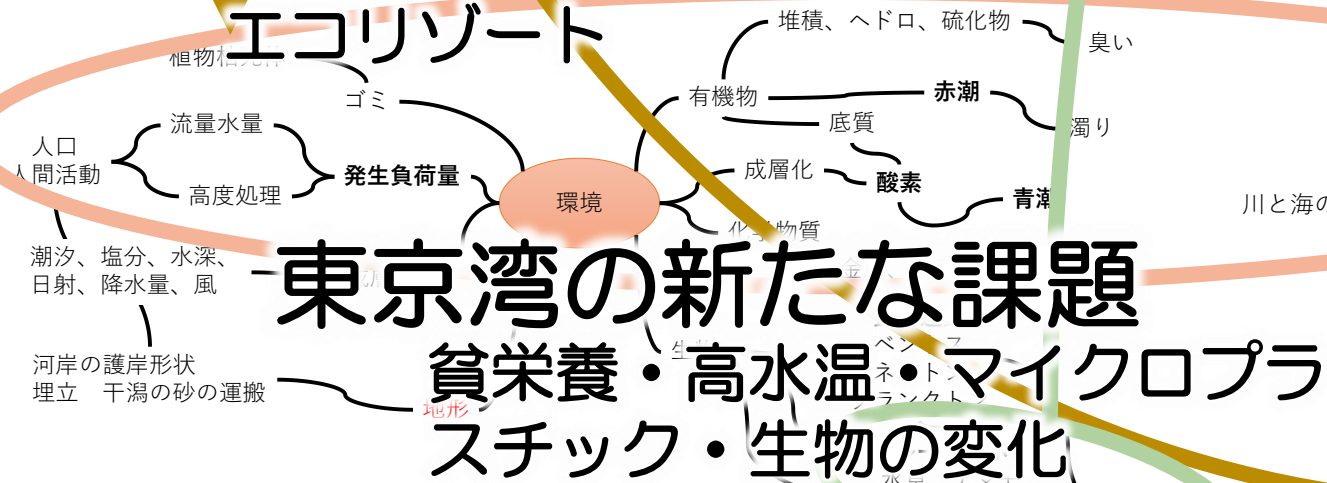
ヘドロのない海の実現

排水システムの再考 (分流化・パイプライン)

海辺へのアクセス

身近な潮干狩り場、砂浜の創出⇔

エコリゾート



情報の共有

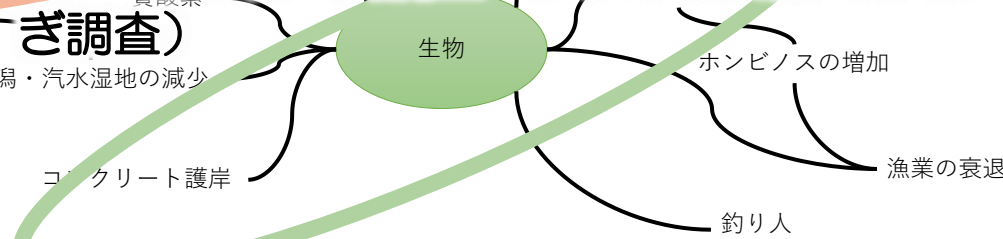
海の井戸端会議

漁業者と市民の対話

体系的なデータ取得と調査結果の共有

市民参加で知識の共有

生き物一斉調査・シンポの実施 (うなぎ調査)



活動

江戸前を食べる

水産

アマモ再生

広報

遊べる水辺をつくる

清掃

産業

経済活動

輸送

流域 (森・川)

人口減少

これからの東京湾

地形・歴史

豊かな頃の東京湾

氷河期、水位変動

循環型社会 (5R)